

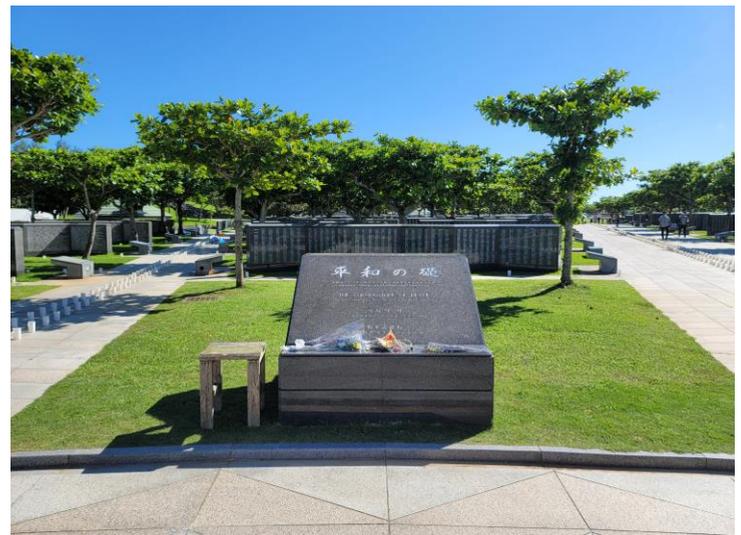


2023年 6月23日

沖縄慰霊の日



慰霊祭が行われていた「魂魄の塔」



現在、慰霊祭が行われてる沖縄平和祈念公園
(毎年名前が増え続ける平和の礎)

6月23日、沖縄戦が終結した日から78年目の日を沖縄県は迎えました。

1945年6月23日に終結した沖縄戦は、本土決戦を先延ばしにするための捨て石と言われ、県民の4人に1人が犠牲になり、20万人以上の方がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り致します。

沖縄県は、「戦後」になった今でも、約1800tもの不発弾があり、現地の方に聞けば、ほぼ毎日、不発弾処理が行われていると言われています。また、基地内外の土地の所有者不明問題や遺骨収集など、78年が経過した今でも戦後処理は終わっていないとは言えません。

そして、戦後の沖縄に78%の米軍基地が集中し、米兵による事件や事故、止むことのない騒音、更には普天間基地移設と耳ざわりのいい言葉を使いながら、辺野古へ新基地を建設しようとしています。このことは、安全保障関連3文書を決定して、日本の防衛政策を大転換し、沖縄を含む南西諸島の防衛力強化を打ち出したことと、無関係とは到底思えません。沖縄は「戦後」にもなっていないのにも関わらず「新たな戦前」と言われる今、軍事拠点としての役割を強いられています。

「平和の礎（いしじ）」には、今年も新たに約360名の名前が追加され、約25万の名が刻銘されています。更に別の形の戦争で刻銘が追加されないように、私たちが平和について考えていきましょう！！

